

〔建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用

証 明 書 發 行 No.	6-92	標 章 No.	0873614
------------------	------	---------	---------

© 2008 (社) 建設荷役車両安全技術協会

3 年 間 保 存

64-267

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果		補 修 内 容							
					良	不良								
油 圧 装 置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	作動、油漏れ、取付、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	✓									
	29	回転継手	回転状態、油漏れ、異音		✓									
	30	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、損傷、油漏れ 電動式 (モーターの異常振動、異音、異常発熱)	目視、聴診、触診	✓									
	31				—	—	—							
操 作	32	操作レバー	ストローク、がた	目視、操作、スケール	✓									
	33													
安 全 装 置 ・ 車 体 関 係 等	34	下部架台フレーム、ブラケット	き裂、変形、しゅう動部摩耗、取付	目視、スケール、探傷器	✓									
	35	旋回フレーム、ブラケット	き裂、変形、取付	目視	✓									
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、ギヤき裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、トルクレンチ	✓									
	37	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	✓									
	38	旋回ロック	効き、き裂、損傷、油漏れ、ホース損傷・老化		✓									
	39	レバーロック、ペダルロック	効き、損傷、変形	目視、操作	✓									
	40	キャブ、カバー	き裂、変形、腐食、雨漏り、ドア等開閉、ロック・キー作動、ガラスのがた・破損		✓									
	41	カウンターウエイト	取付	目視、スケール	✓									
	42	座席 (調整機構、シート、背もたれ)	座席調整、ロック作動、取付、ベルト、損傷	目視、操作	✓									
	43	昇降設備、滑り止め	き裂、損傷、変形、取付	目視	✓									
	44	表示板	損傷、取付		✓									
	45	燈火装置、警音器、方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	作動、取付、レンズ破損、浸水	目視、操作	✓									
	46	計器類	作動	目視	✓									
	47	後写鏡、反射鏡	汚れ、損傷、写影		—	—	—							
48	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	✓										
49														
総 合	50	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓									
排ガス装置	★	一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンチ等	✓									
事業 者 等 の 要 請 等	次回特定自主検査実施年月 25 年 6 月													
	定期点検 7/12、7/27、7/28													
補 修 等 の 措 置 内 容														
照会No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補 修 実 施 内 容										
1	EP-74-T-334		2024.6.12	74-T-清掃										
備 考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に★印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は★印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。						記 号	交 換	修 理	調 整	締 付	清 掃	給 油 水	該 当 な し
								X	△	A	T	C	L	—